

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (③ 学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ)

平成28年度 高知県防災キャンプ推進事業

高知県教育委員会

【事業のポイント】

- 体験活動の推進による児童生徒等の「生きる力」の育成
- 学校が地域や自主防災組織、その他の関係機関等と協働し、地域プラットフォームとして防災キャンプを企画・実施することによる地域の絆づくり
- 県教育委員会主催による防災教育推進フォーラム



1. 企画

(1) 事業実施の背景

自然の豊かな恵をうけている本県において、南海トラフ地震への備えは喫緊の課題となっている。県教育委員会では、南海トラフ地震に備えて、災害発生時に児童生徒が的確に判断し、「自分の命は自分で守る」ことができるよう、また、年齢が上がるにつれて自分を守るだけでなく周囲にも心を配り、地域の防災に貢献できるよう、県内全ての学校で「高知県安全教育プログラム」に基づく発達段階に応じた防災教育に取り組んでいる。

本事業は、避難生活を疑似体験することによって、災害発生時に起こりうる様々な困難をイメージし、実際の災害発生場面で想像力を働かせて対応できる力を育成するとともに、児童生徒が主体的に避難所運営に関わることにより、周りとの協調し、自ら果たすべき役割を認識し行動する力や地域の防災に関心を持ち、積極的に関わろうとする態度の育成につながることを期待できる。

また、学校が地域や自主防災組織、その他の関係機関等と協働し、一つの組織(地域プラットフォーム)として防災キャンプを企画・実施することによって、地域の絆づくりのよい機会となることも期待される。

(2) ねらい

○児童生徒等が避難所生活を体験することによって、災害発生時の行動や生活を考える機会とする。

○学校・保護者・地域住民・行政等の参画による防災キャンプのプログラムを計画・実施することで、地域の絆づくり(地域プラットフォームの形成)を促進する。

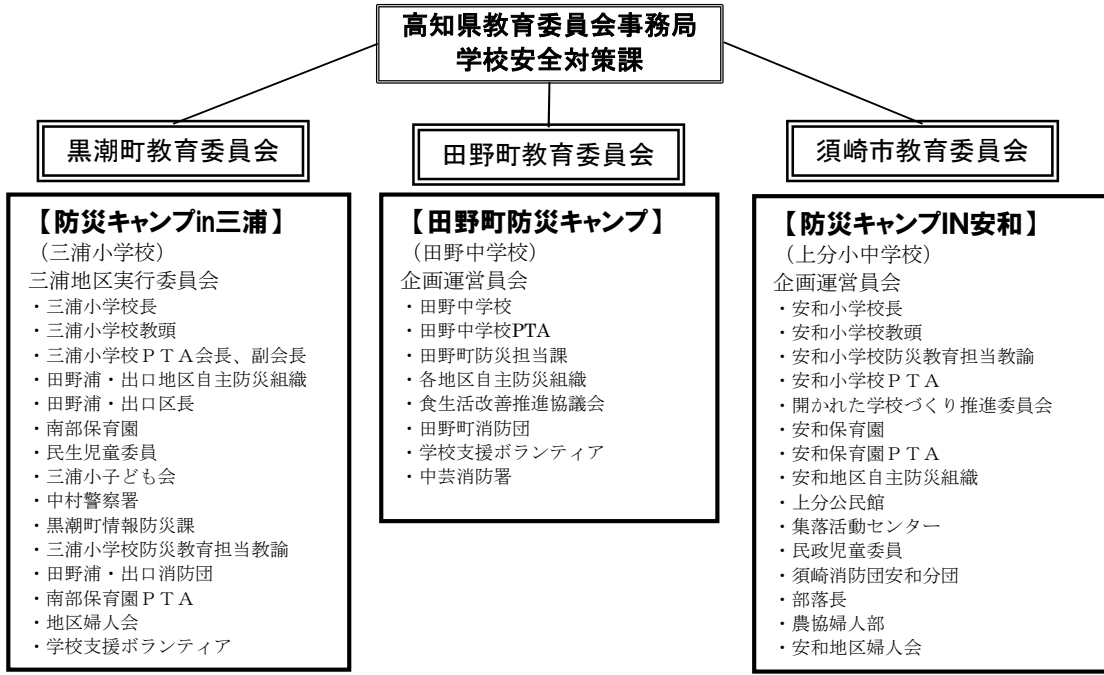
○地震や津波だけではなく、土砂災害や山津波等の様々な被害想定による避難所体験を実施し、事前の備えや対策について考える機会とする。

○様々な状況を想定した避難訓練や防災食を体験することで、地域の避難経路や避難場所の課題を共有する。

○県教育委員会主催の防災教育推進フォーラムでの実践報告を通して、県全体で成果と課題を共有し、高知県の学校等における防災教育の推進を図る。

2. 実施概要

(1) 地域プラットフォームの構成



高知県地域プラットフォーム推進組織

(2) 具体的な取組の概要

開会式



応急処置講習会



防災学習



防災グッズ作成(簡易トイレ、スリッパ)



避難所運営訓練(HUG)



パーティションづくり



炊き出し



(3)実績スケジュール

月 日	内 容
4月11日	事業日程の調整及び運営体制の検討【須崎市】
4月24日	事業日程の調整および運営体制の検討（自主防災と学校）【黒潮町】
4月25日	起震車体験【須崎市】
5月24日	防災キャンプIN安和 第1回企画運営委員会（プログラムの修正）【須崎市】
5月30日	地震・津波避難訓練（授業時）【須崎市】
5月31日	防災キャンプIN安和 第2回企画運営委員会（須崎市教育委員会）【須崎市】
5～6月	関係機関（中芸消防署・消防団・食改等）に個別に事業説明し協力依頼【田野町】
6月17日	第1回実行委員会（5月の育てる会を受けて）（自主防災と学校）【黒潮町】
6月20日	講師打ち合わせ（岡田将治 准教授）【須崎市】
6月24日	地震・津波避難訓練（休み時間）【須崎市】
6月24日	講師打ち合わせ（NTT）【須崎市】
6月28日	講師打ち合わせ（市地震防災課）【須崎市】
7月4日	応急処置事前打ち合わせ会（岡村真男 日赤防災リーダー）【須崎市】
7月9日	第2回実行委員会（6月の育てる会を受けて）（自主防災と学校）【黒潮町】
7月14日	防災キャンプIN安和 事前準備委員会（地域の関係機関）【須崎市】
7月17日	田野町自主防災組織連絡協議会（各地区自主防災組織に参加・協力依頼）【田野町】
7月23日	防災キャンプIN 安和（1日目）【須崎市】
7月24日	防災キャンプIN 安和（2日目）【須崎市】
7月25日	避難所等資材・非常食等入札【田野町】
7月27日	第1回 田野町防災キャンプ実行委員会（事業説明会）【田野町】
8月5日	避難所等資材・非常食等納品【田野町】
8月8日	防災キャンプ 1日目【田野町】
8月9日	防災キャンプ 2日目、アンケート【田野町】
8月26日	第2回 田野町防災キャンプ実行委員会（反省会）【田野町】
8月30日	防災キャンプIN安和 第3回企画運営委員会（須崎市教育委員会）まとめ【須崎市】
9月2日	着衣水泳（須崎消防署）【須崎市】
9月2日	第3回実行委員会（6月の育てる会を受けて）（自主防災と学校）【黒潮町】
10月1日	防災参観日・防災キャンプ（1日目）【黒潮町】
10月2日	防災参観日・防災キャンプ（2日目）【黒潮町】
10月21日	第3回三浦の子供を育てる会（防災キャンプの報告）【黒潮町】
11月8日	避難訓練（津波・地震）第2避難場所：ポンカン畑へ【須崎市】
11月27日	HUG体験（教職員校内研修）地震防災課の協力【須崎市】
1月29日	高知県防災教育推進フォーラムにて安和小学校の取組を報告【須崎市】

3. 成果と課題

(1) 成果

本年度は南海トラフ地震が発生した場合、実際に避難場所として想定される学校において、地域や関係諸機関と連携した防災キャンプを実施し、地域プラットフォームの形成に取り組んだ。

○高知県防災教育推進フォーラムの実施

高知県教育委員会が防災教育の普及・啓発を目的として開催する「高知県防災教育推進フォーラム」で防災キャンプについての発表を行うことにより、本県の一層の防災教育の推進とともに地域プラットフォーム形成の啓発を図ることができた。

(参加者約150名)

○地域と連携した多様な体験活動の実施

防災キャンプを実施することで、地域住民・児童・保護者・教職員等が連携・協力し、日ごろは実施困難な様々な防災体験活動を実施することができた。

○多様な避難訓練の実施

校外活動中や夜間など、普段の学校生活ではできない避難訓練が、地域や保護者の方々と協力することで実施することができた。このような取組が児童生徒の防災に関する知識及び災害時に自ら判断し、行動していく力を育成し、生きる力を育んでいくのだと感じた。

○多面的で効果的な体験活動の実施

「避難所生活を体験する」ことをテーマとした体験活動(非常食・ダンボールハウスづくり、夜間の避難訓練、等々)を設定することにより、防災上の問題・課題を見いだすことができた。また、児童生徒に地震・津波が発生した際の適切な対応を多面的に捉えさせる機会となった。

○関係機関との交流・連携強化

地震・津波等の非常時においては、日常培われてきた「人とのつながり」の質が避難時や避難場所・避難所生活の質を左右すると考えられる。「防災キャンプ」を実施することで地域住民・児童・保護者・教職員・関係機関が互いに知り合い、心の交流をも図ることができた。また、児童のみならず、地域住民・保護者・教職員等の防災に関する知識も広がり、生きるための知識や技能を身につけることができた。

(2) 課題

【地域住民・保護者の意識向上】

◆防災キャンプを実施する、学校と教育委員会、関係諸機関が連絡を密に取りあい、実施したが、参加してくれる地域・保護者の参加者に固定化傾向が見られた。今後は、無関心層の地域住民・保護者の意識を向上させていくためにも、今後も継続した取組が必要である。

【避難所生活の環境整備】

◆今回、夏場に防災キャンプを実施したところでは、体育館の蒸し暑さや蚊などの害虫、エアマットによる音等、実際の避難生活時の住環境の悪さが指摘された。たださえ心理的にも苦しい環境となることが予想されるので、市町村の防災担当課と連絡を取り合い、避難所生活の環境改善に努力していくことが確認された。

また、体育館で宿泊する際に、防犯面についての対策が取りづらい場面が多々あり、今後は、避難所運営マニュアルを更に改訂し、安心して過ごせる空間づくりにも努めてい区ことも確認された。

4. 地域プラットフォームの展望(今後の方向性・取組等)

○コミュニティの一員として役割を果たせる人づくり

今後は、避難するだけでなく、その後復興するまでの生活を想定した取組も設定し、災害が起きたときに、自分の命を守ることができる人づくり、コミュニティの一員として役割を果たせる人づくりを柱にこれからの防災学習を見直す必要がある。また、地域の高等学校や大学の学生とも連携を図り、防災教育の推進を図っていくことも必要である。

○効果的な「防災キャンプ」の継続

地理的状況・立地状況を踏まえ、地域住民と一体となった体験的な「防災キャンプ」を実施することは、非常に「地域プラットフォーム」形成には効果的な方策であると思われる。実施校の地域からも、今後も、非常時に適切に行動できる児童の育成と地域住民の防災意識の向上及び防災文化の構築を図ることを目的に、「防災キャンプ」を企画・実施することを積極的に考えていきたいという声があがっており、継続した実施が望まれる。

○地域ネットワーク化の推進

防災キャンプ実施校では、様々な体験活動を計画・実施することで、これまで関わりの薄かった関係諸機関等とのつながりを構築することができた。今後も、指定校を変えながら防災キャンプを実施し、地域ネットワーク化の推進を図っていく。

5. 団体プロフィール

高知県教育委員会

所在地 : 〒780-0850

高知県高知市丸ノ内一丁目7番52号

TEL : 088-821-4533

FAX : 088-821-4546

